

塔や其の他色々建物を寫したり、大佛門の仁王、春日神社の寫生等、ことに宮嵐塔雨とは奈良特有の字句だとか、實に詩的だ。何れの會何れの講習でも、多數の人が寄れば面倒も起り、中には随分小言の出来るものである、然るに今度の講習は、水彩畫の好きなものばかりが、自分の最尊敬して居る先生の下に、集つたのであるから、小言や不平の段ではなかつた、本年も各地に色々講習が開かれたが、之れほど心のよく合つた愉快な、そして最も有益な趣味ある講習が、何程あつたであらふ？。

オドロ記

アイ、テイ生

○小生が奈良の講習會に出席して驚いたことが澤山あります、左にこれを並べて見ませう

○まづ第一に大下先生のセイの高いの、よくも鴨居へ頭をうつちげぬといつも感心してゐました

○次は會員森田君の體格、未丁年者で二十四貫は恐ろしい

○三山亭のオカミサンも女で十八貫は一才大きい

○奈良の大佛さまは是に比べて小さい

○何處の講習でも午前半日が通例だが、水彩畫の講習は朝から夜迄とは驚ろかさるを得ない

○朝の七時から十二時迄、午後の三時から六時まで、夜の八時から十時迄、合計十時間、此暑中を毎日教導の勞をとらるゝ講師兩先生の熱心には大に驚ろかされた、そしてその間に作品

の批評もされる

○會員の勉強にも驚ろかされた、毎朝四時半に起きて寫生に出かける、雨が降るから休むかと思へば、却て雨景が面白いなんていふて出かける、よくもこんなに勉強が出来たものだなと感嘆した

○モ一つ驚いたのは先生方の作品陳列だ、水彩畫を版より見たことのない小生故無理はないが、繪といふものはこう迄も畫けるものかと呆れた、そして精密なものもあり、粗末なものもあり、一々その自然によつて筆鋒の異なつてゐるのには敬服した

○まだ驚ろくことがある、これ等の作品のうちスケッチは三十分、一時間、永くて二時間位ひて出来たといふのだ、小生なら半日はかゝると思ふ

○素敵に驚いたのは、石川先生のスケッチに十五分間といふのがあつた、何も早いばかりがよいのでもあるまいが、全くグツグツしてゐると自然の有様が變化して別物になつてしまふ、スケッチを早くする稽古は肝心だと思つた

○最後の驚きは十四日の大雷雨だ、非常な勢で雨が降る中を、ヒカ／＼と來たかと思ふと同時にガラ／＼／＼三山亭の近くに落雷した時(終)

*

*

*

*